

群馬の自然と環境を自分たちで守り、 環境負荷の少ない低炭素で循環型の社会をつくる



群馬県は、尾瀬に代表される貴重な生態系、県土の約2/3を占める森林、利根川を軸とする多くの清流など、美しく豊かな自然を有しています。

私たちは、この自然のなかで暮らし、産業を発展させてきました。一方で、今日の社会経済活動は、生活に利便性や豊かさをもたらすと同時に、温室効果ガスによる地球温暖化、貴重な生態系の減少・喪失、水環境の悪化および廃棄物の大量発生など、さまざまな環境問題を引き起こしています。

これらの環境問題に対応し、本県のすばらしい自然環境を守り育てていくことは、私たち一人一人の責務であり、環境への負荷が少ない低炭素で循環型の社会の実現に向け、具体的な行動や取組を進めていくことが必要です。事業者の皆様におかれましては、自主的、積極的な環境経営を実行いただけるよう、エコアクション21を含めた環境マネジメントシステムの導入が望まれています。

県民一人一人が役割を認識し、協働することによって、本県の豊かな環境を未来に引き継いでいきたいと考えています。

群馬県知事 **大澤 正明**

環境マネジメントシステムの普及導入を急がれていると伺いました

人口当たりの乗用車保有台数が全国一である群馬県では、公共交通機関の輸送分担率も、全国平均に比べて低く推移しています。さらに、産業・業務部門からの温室効果ガス排出量が増加しており、平成27年3月に改定した「群馬県地球温暖化対策実行計画」の目標数値を達成するためには、省エネ技術や再生可能エネルギーの普及はもちろん、環境マネジメントシステムの普及導入を積極推進していくことが急務だと考えています。

導入する企業の拡大に、県独自で工夫されているそうですね

県内の自然環境保全と、温暖化防止を進めていくためには、環境に配慮した事業活動が必要不可欠と考えています。そのためには広く県内事業者へ環境マネジメントシステムを導入いただくことが望まれているのですが、とりわけ中小の事業者の方からは「やる人がいない」「担当できる人がいない」「人手がない」の声が上がり、思い通りに普及できていない現状があります。そこで、本県では、環境経営のはじめの一歩として「環境GS認定制度」を運営しています。

エコアクション21へのステップアップも期待できる制度と伺いました

「環境GS認定制度」はまず門戸を広げることを目的としており、環境経営への取り組みを理解され、さらに積極的に取り組んでいただける事業者にはエコアクション21へステップアップしていただけるよう、「エコアクション21認証・登録支援事業」を用意、希望される事業者は無料でコンサルティングを受けることができます。このプログラムへの橋渡しの位置づけとして事前の説明会も準備しており、中小の事業者におけるスムーズなエコアクション21への移行を支援しています。

導入された企業からは、感謝の声が届いているそうですね

環境マネジメントに取り組むことは、温室効果ガスの排出を削減するだけではありません。省エネ・節電を進めることができ、省コスト・経費節減にもつながっていくことができます。こうしたメリットを情報誌などで積極的に告知していくとともに、取り組むきっかけのつかめない中小の事業者に対しては「環境GS推進員派遣」を制度化、実施して、EMSへ取り組む事業者の掘り起こしにも努めています。県の施策を経て環境マネジメントシステムを取り入れた事業者からは、「経費が大幅に削減できた」「会社経営に大きなプラスになった」と、うれしい言葉をいただいています。



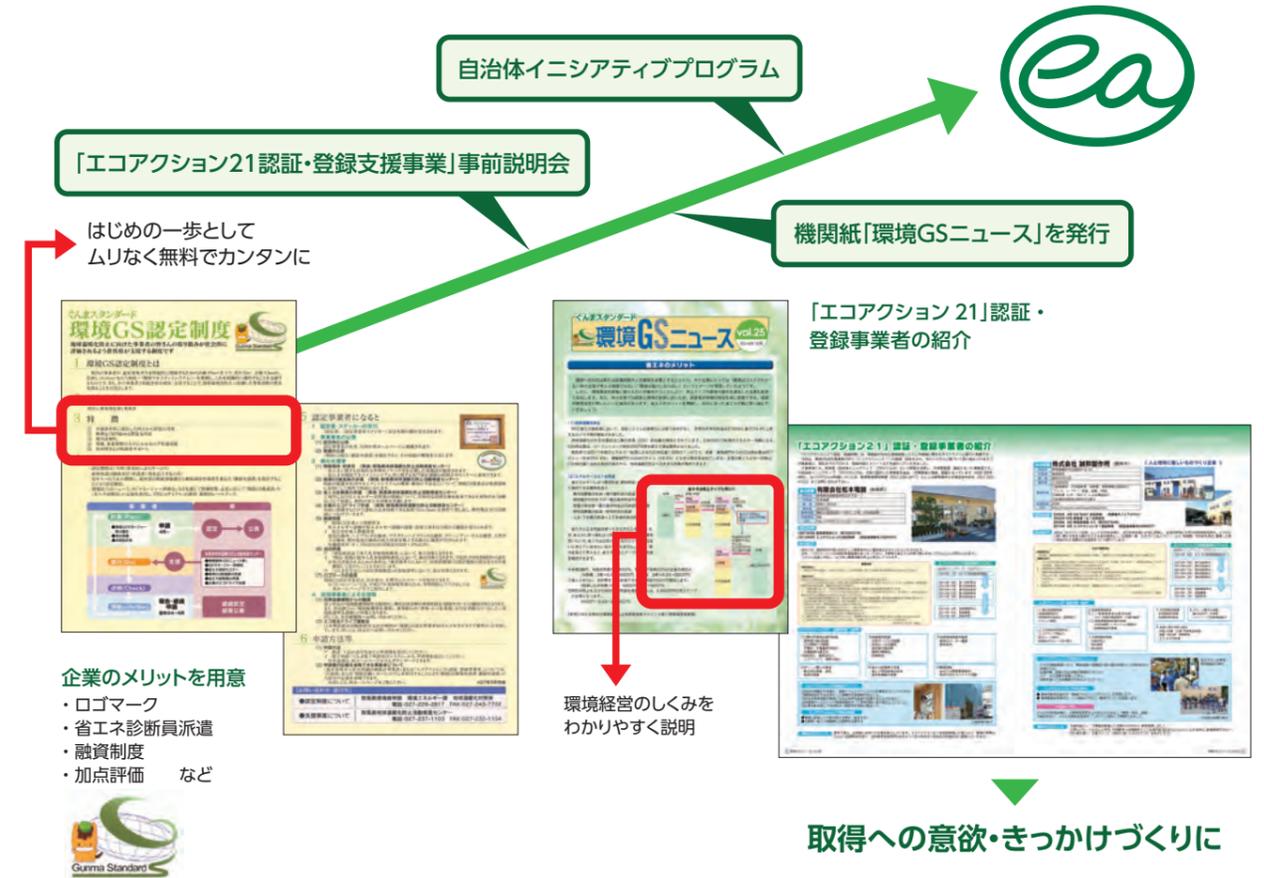
群馬県のあらし

面積：6,362.28 平方キロメートル
人口：1,973,643 人(男 971,848 人、女 1,001,795 人)
世帯：780,040 世帯

特産品：牛肉、豚肉、キャベツ、こんにゃく、下仁田ネギ、キノコ類、生糸 など
主な産業：食品、家電、自動車関連 など

エコアクション21を活かした取り組み

群馬県では、エコアクション21取得までの“道のり”を支援、「環境GS認定制度」を起点に、環境に配慮した企業活動を段階的に進められるよう取り組んでいます。



エコアクション21を広める取り組み

環境GS認定事業者に対して、「事前説明会」と「自治体イニシアティブプログラム」の機会を無料で提供。スムーズにエコアクション21へ移行していただけるように工夫しています。



課題とこれからの取り組み

認定事業者のメリット充実

中小事業者へ環境経営を更に普及していくためには、取組の意義を広く伝えていくとともに、認定事業者への支援策を充実したり、優良事業者名を公表したりするなど、取組によるメリットを増やしていく必要があると考えます。

事業者とのコミュニケーション強化

認定事業者からなる「ぐんまエコアクション21倶楽部」などの機会を有効利用し、取得された、又は取得される企業と直接コミュニケーションを図るよう、「県の顔が見えるような」活動をしていきたいと考えます。